

事業の継続に関するアンケート調査報告書

令和3年3月

会津若松商工会議所

目次

I. 調査の概要	1
II. アンケート調査結果の概要	2
III. 調査結果	
(1) 企業情報	
1 主要業種	13
2 経営形態	13
3 従業員数	14
4 代表者の年齢	14
5 業歴	15
(2) 事業の継続に関して	
問1 この先10年の事業計画について	15
問2 廃業の検討理由	16
問3 事業拡大の検討について	16
(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について	
問4 新型コロナウイルス感染症による事業計画への影響	17
(4) 後継者について	
問5 後継者の有無について	17
(5) 第三者承継希望者の引き継ぐ時期と探し方について	
問6 引き継ぐ時期や引き継ぎ先の探し方について	18
(6) 経営資源の活用について	
問7 事業の引き継ぎの検討について	19
問8 廃業後の建物や店舗について	19
(7) 新型コロナウイルスによる事業引き継ぎへの影響について	
問9 新型コロナウイルス感染症による引き継ぎへの影響	20
(8) 事業の引き継ぎにおける課題について	
問10 事業の引き継ぎの課題について	21
(9) 利用したい事業引き継ぎ支援について	
問11 利用したい支援について	21
(10) 事業引き継ぎにおける相談先について	
問12 引き継ぎにおける現在の相談者	22
問13 引き継ぎにおける今後の相談者	22
IV. 参考資料：アンケート調査票	

I. 調査の概要

1 調査対象

会津若松商工会議所会員 2023者

2 調査方法

調査票を郵送し、同封の返信用封筒にて回収する。

3 調査期間

令和3年3月1日～3月19日（回収期間：19日間）

4 回収結果

送付件数2023者のうち377者より回答があり、回収率は18.6%となった。

5 回収・集計・分析

福島県事業引継ぎ支援センター（公益財団法人 福島県産業振興センター）

6 アンケート調査票

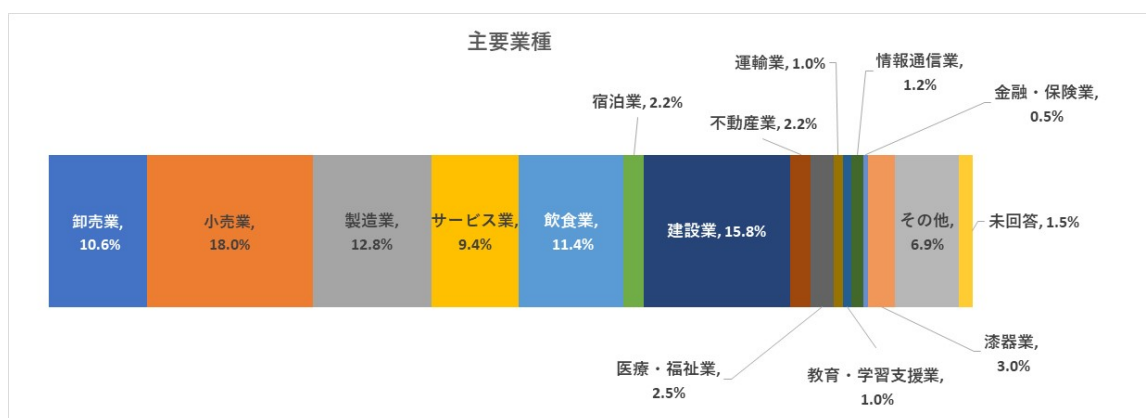
別添参考資料のとおり

注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

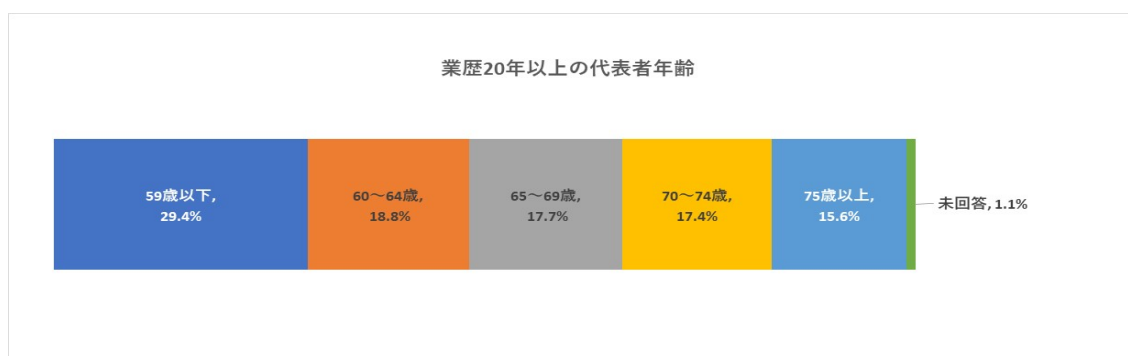
Ⅱ. アンケート調査結果の概要

(1) 回答事業者の属性

- ① 主要業種の内訳は、小売業が 18.0%と最も多く、次いで、建設業が 15.8%、製造業 12.8%、飲食業 11.4%となった。

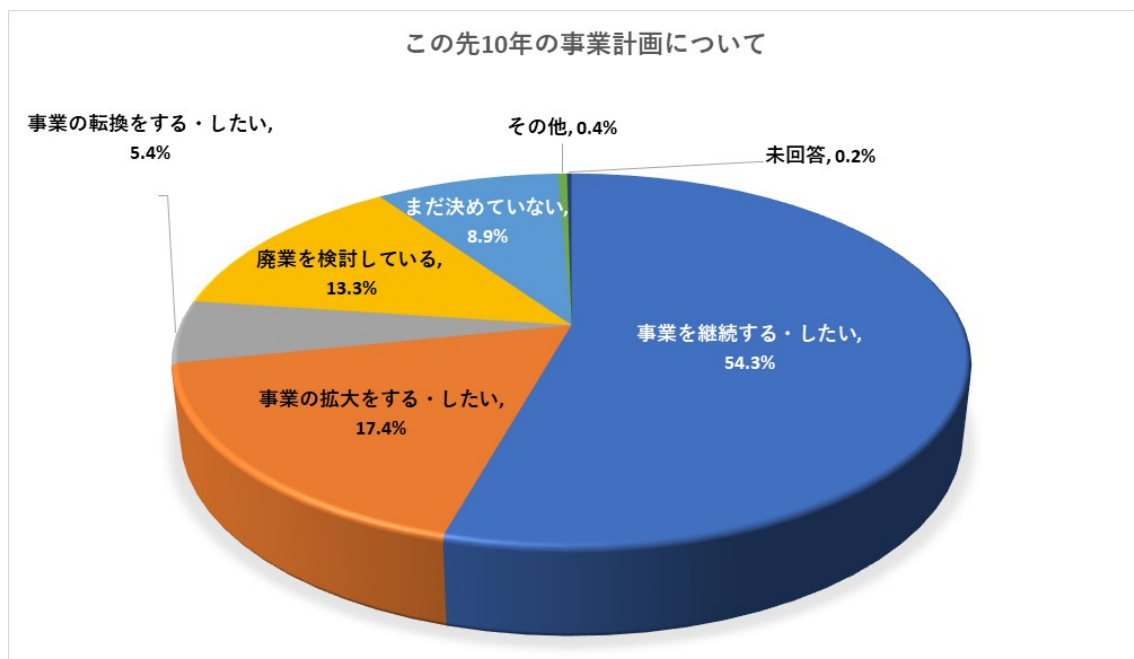


- ② 経営形態については、法人が 59.2%、個人が 39.8%であった。
- ③ 従業員数は、従業員数が 1～5 人が 45.6%と最も多く、次いで 0 人 17.8%、6～10 人が 11.1%、11～20 人が 10.9%であった。
- ④ 代表者の年齢は、59 歳以下が 37.7%、60～64 歳が 17.5%、65～69 歳が 16.4%の順になった。
- ⑤ 業歴は、20 年以上が 74.8%と最も多く、次いで 10 年以上 20 年未満が 10.9%であった。業歴 20 年以上と回答した事業者の代表者年齢の内訳は、59 歳以下が 29.4%と最も多く、次いで 60 歳～64 歳が 18.8%、65～69 歳が 17.7%となった。75 歳以上と回答した事業者は 15.6%であり、この事業者の事業承継が円滑に進むことにより業歴が長い事業がさらに継続されることとなる。

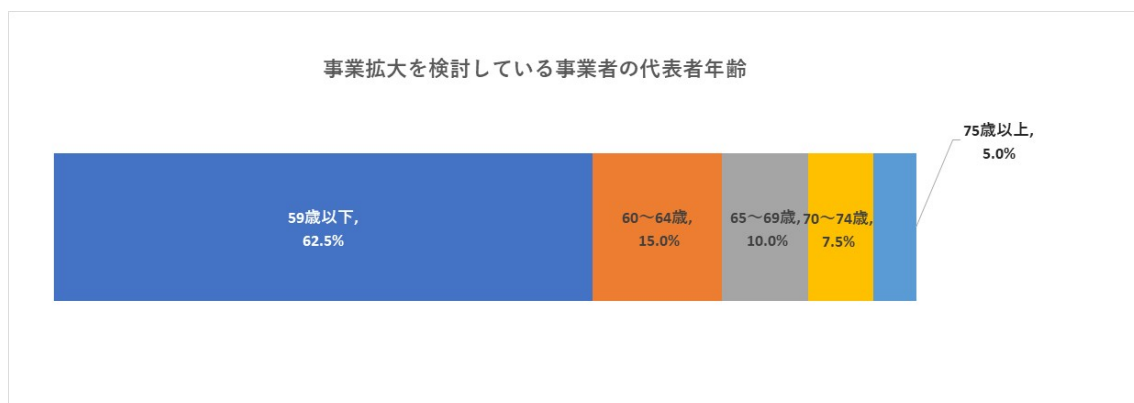


(2) 事業の継続について

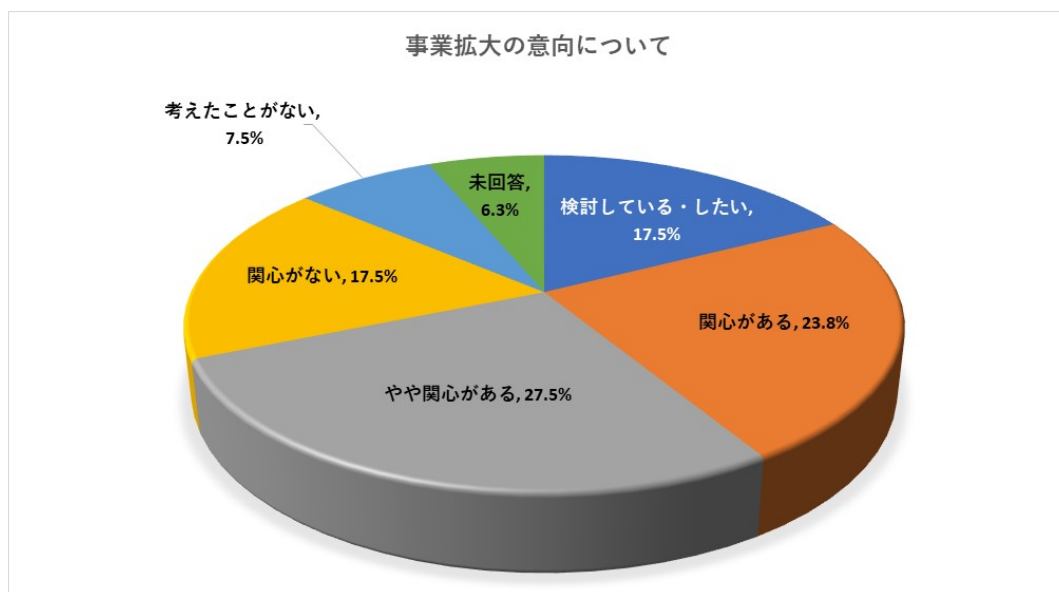
この先10年の事業計画について、事業の継続または拡大の意思を示した事業者は77.1%（「事業を継続する・したい（54.3%）」「事業の拡大をする・したい（17.4%）」「事業の転換をする・したい（5.4%）」を回答した者の合計）である一方、アンケート調査時点で事業を継続することが決まっていない事業者は22.2%（「廃業を検討している（13.3%）」「まだ決めていない（8.9%）」を回答した者の合計）であった。



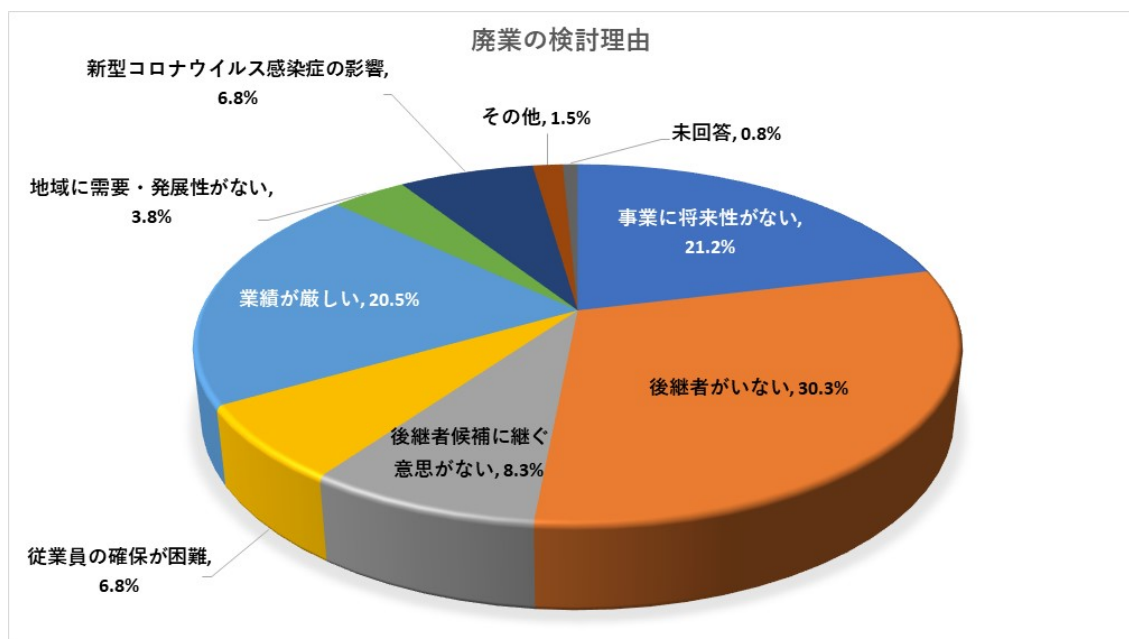
「事業の拡大をする・したい」と回答した事業者の代表者の年齢をみると、50歳以下が62.5%と半数以上を占めており、代表者の年齢が若いほど事業拡大意欲が高いことがわかる。



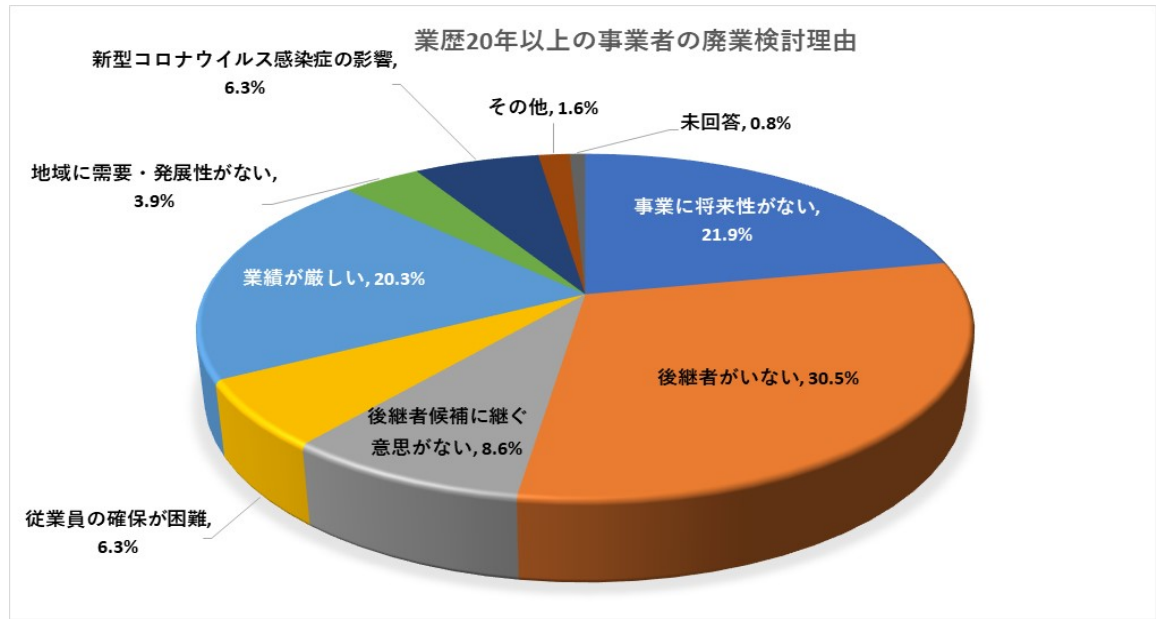
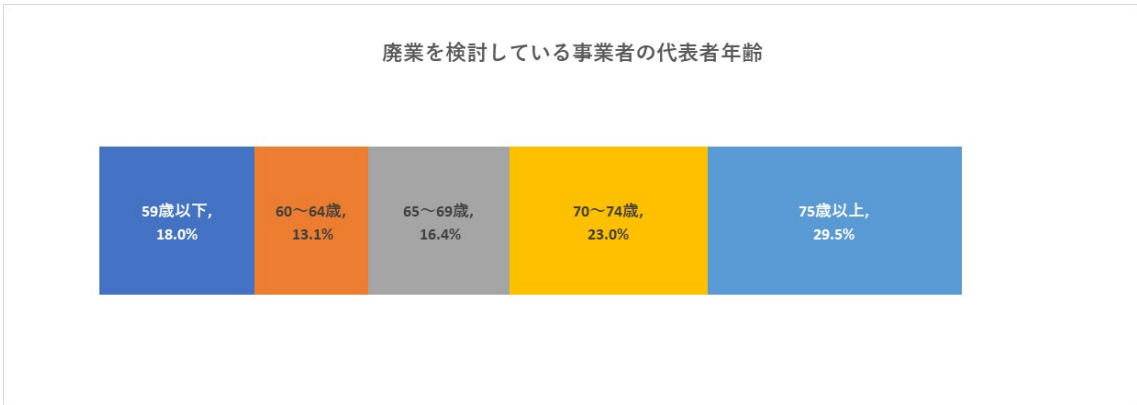
今後「事業の拡大をする・したい」と回答した中で、M&Aによる事業拡大に興味がある者は68.8%（「検討している・したい（17.5%）」「関心がある（23.8%）」「やや関心がある（27.5%）」と回答した者の合計）であり、事業拡大の意思がある者の約半数以上が、M&Aによる事業拡大も視野に入れていることがわかる。



今後「廃業を検討している」と回答した事業者の中で、その理由として最も多いのが、「後継者がいない（30.3%）」であった。次いで、「事業に将来性がない（21.2%）」、「業績が厳しい（20.5%）」となった。事業の将来性や業績の厳しさから後継者が見つからず、廃業を検討するという選択をせざるおえなくなっている可能性も考えられる。

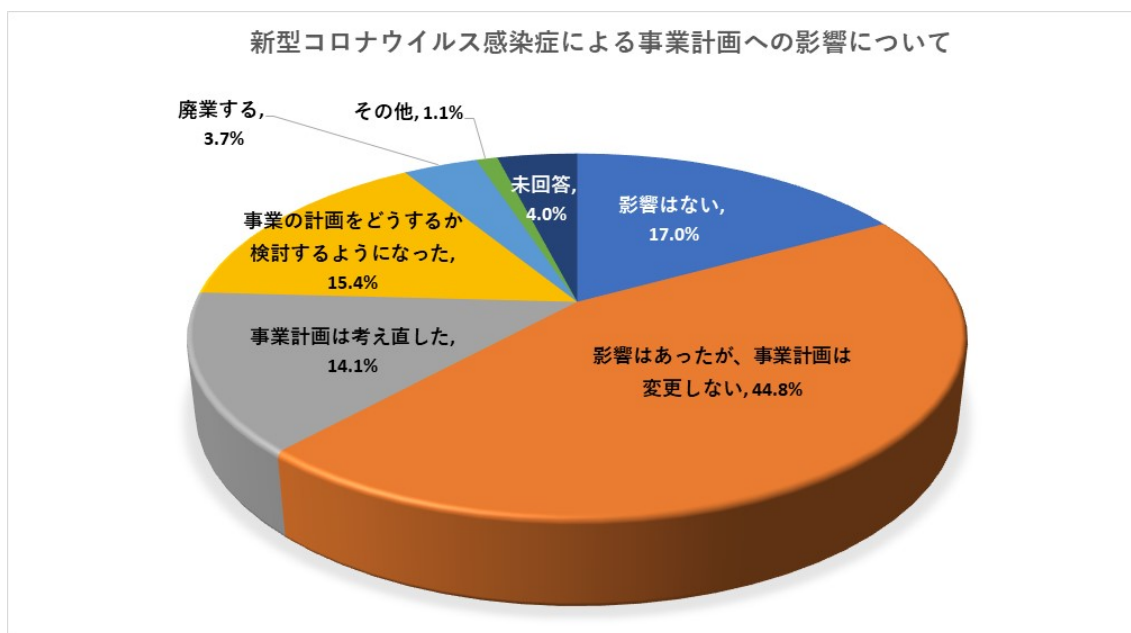


今後廃業を検討している事業者の代表者年齢をみると、75歳以上が29.5%と最も多く、次いで70～74歳が23.0%となった。代表者の年齢が高齢である方が、廃業を検討している事業者が多い。また、業歴を見ると20年以上が90.2%と9割におよぶ。この事業者の廃業検討理由は後継者がいない(30.5%)が最も多く、この事業者たちの事業承継を早急に支援する必要があると考える。



(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について

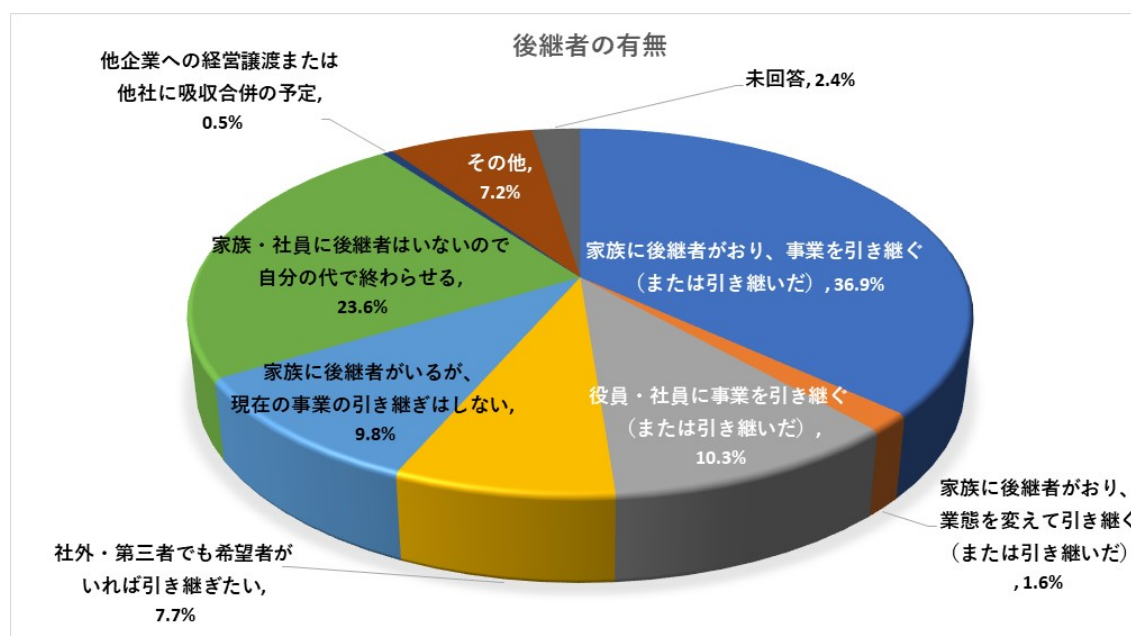
新型コロナウイルス感染症による事業計画への影響について、「事業計画を考え直した(14.1%)」、「事業の継続をどうするか検討するようになった(15.4%)」と、回答事業者の約3割が今後の事業計画を変更するほどの影響があった。また、回答事業者の約4割は「影響があったが、事業計画は変更しない(44.8%)」を選択しており、「影響がない」とした回答事業者も17.0%いた。



(4) 後継者について

後継者の有無について、親族承継をしたまたは検討している事業者が 38.5%（「家族に後継者がおり、事業を引き継ぐまたは引き継いだ（36.9%）」、「家族に後継者がおり、業態を変えて引き継ぐまたは引き継いだ（1.6%）」の合計）と最も多く、従業員承継が 10.3%、第三者承継を検討または希望している事業者は 8.2%（「社外・第三者でも希望者がいれば引き継ぎたい（7.7%）」、「他企業への経営譲渡または他社に吸収合併の予定（0.5%）」の合計）であった。

一方で、廃業を検討していると考えられる回答事業者は、33.4%（「家族後継者がいるが、現在の事業の引継ぎはしない（9.8%）」、「家族・社員に後継者はいないので、自分の代で終わらせる（23.6%）」の合計）である。



(5) 第三者承継希望者の引き継ぐ時期と探し方について

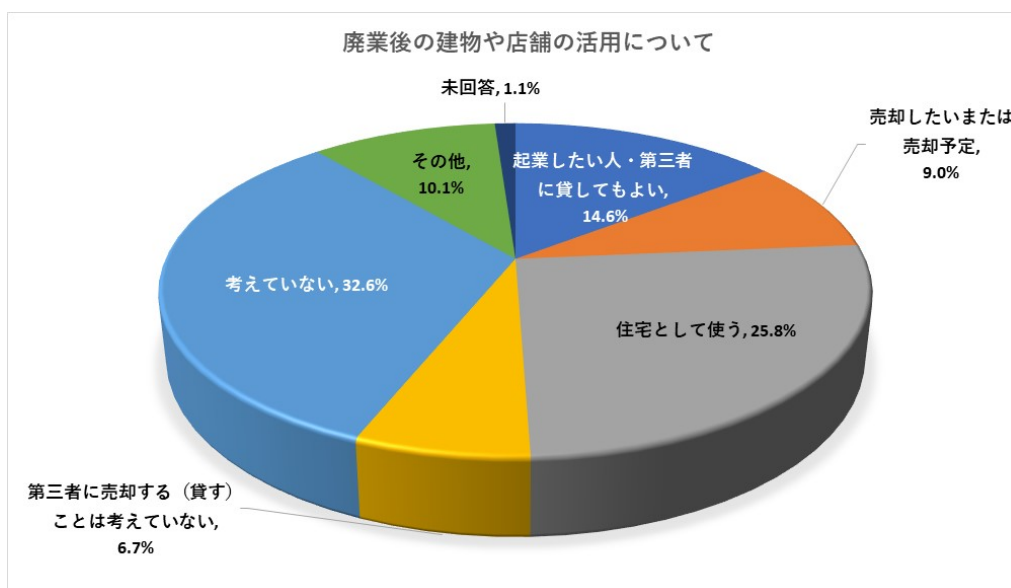
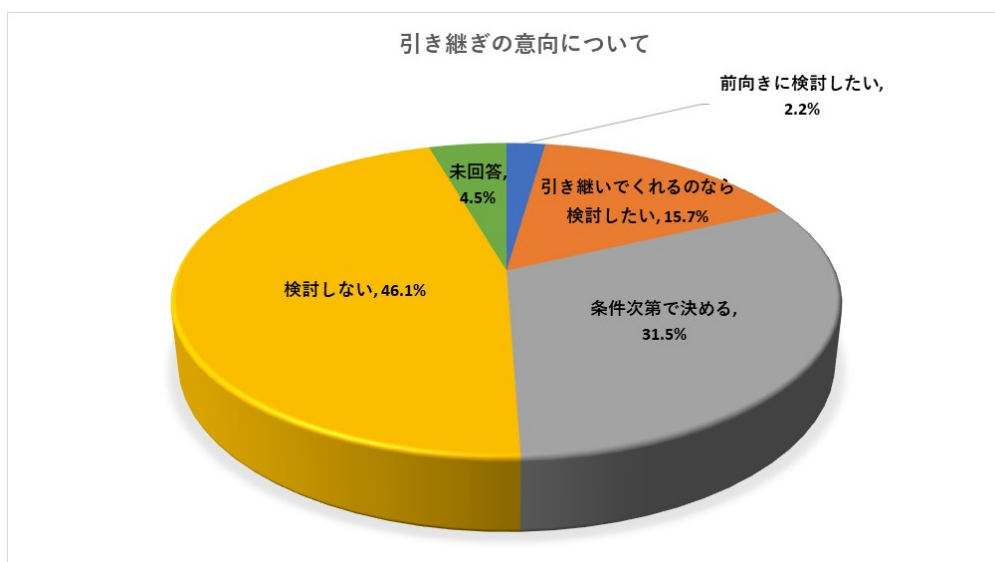
第三者承継を希望している回答者の中で、引き継ぐ時期について「5年以内」と「考えていない」が 31.3%と同数であった。また、「廃業後」と回答した者も 18.8%と一定数いた。

引き継ぐ相手の探し場所として、「取引先・同業者」と「親族・知人の紹介」が 18.8%と最も多いのは、同業者や気心が知れている間柄で相手先を探したいという希望の現れであると考えられる。続いて、「会津若松商工会議所（14.6%）」「公的機関（引継ぎセンター等）（12.5%）」で探したいとした者もあり、支援機関の支援を必要としている事業者もいることがわかる。

(6) 経営資源の活用について

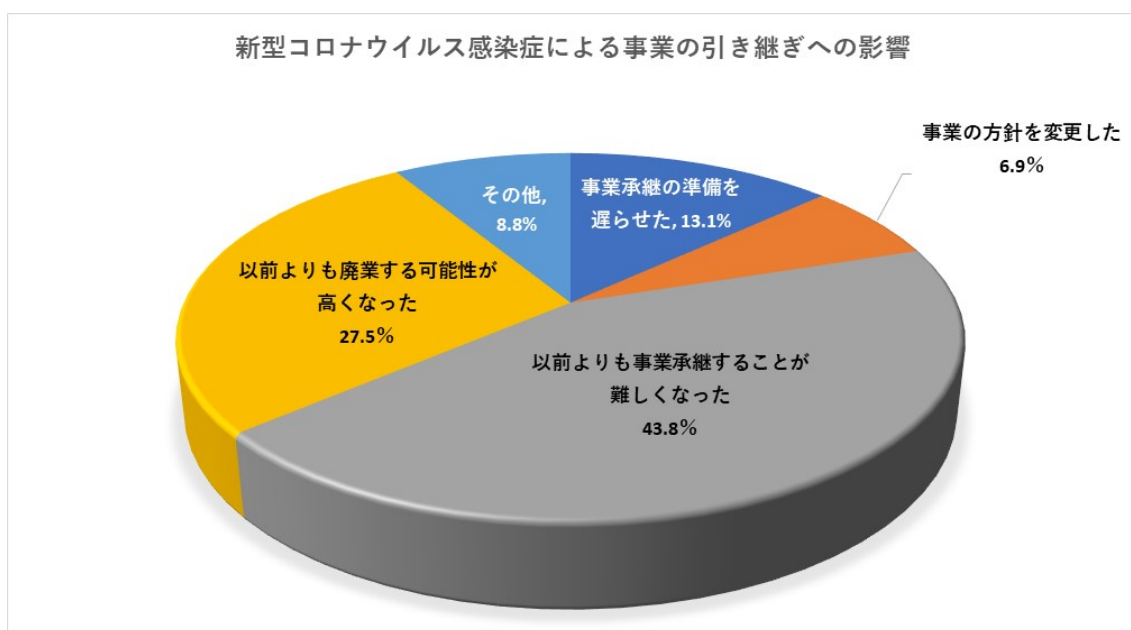
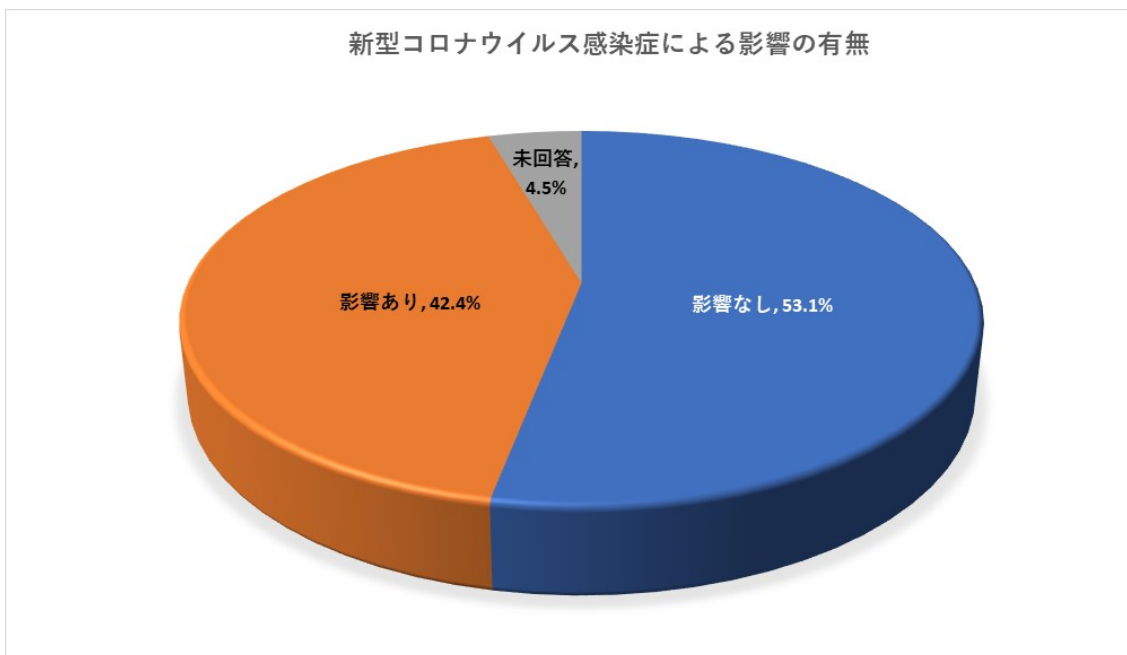
「自分の代で事業を終わらせる」と回答した者が創業・起業希望者への事業引継ぎの可能性については、46.1%が検討しないとしたものの一方で、検討の余地がある者は49.4%であった（「前向きに検討したい（2.2%）」「引き継いでくれるのなら検討したい（15.7%）」「条件次第で決める（31.5%）」の合計）。つまり、新しい選択肢を提示することによって廃業を食い止められる可能性もあるということであり、廃業を検討している事業者へ事業承継における様々な選択肢を提案することによって、事業を残せる可能性も多いにあると考えられる。

廃業後の建物や店舗の活用については、起業したい人や第三者へ貸しても良いと考える者は14.6%であった。一方で、住宅として使うと回答した者が25.8%、考えてないが32.6%であった。



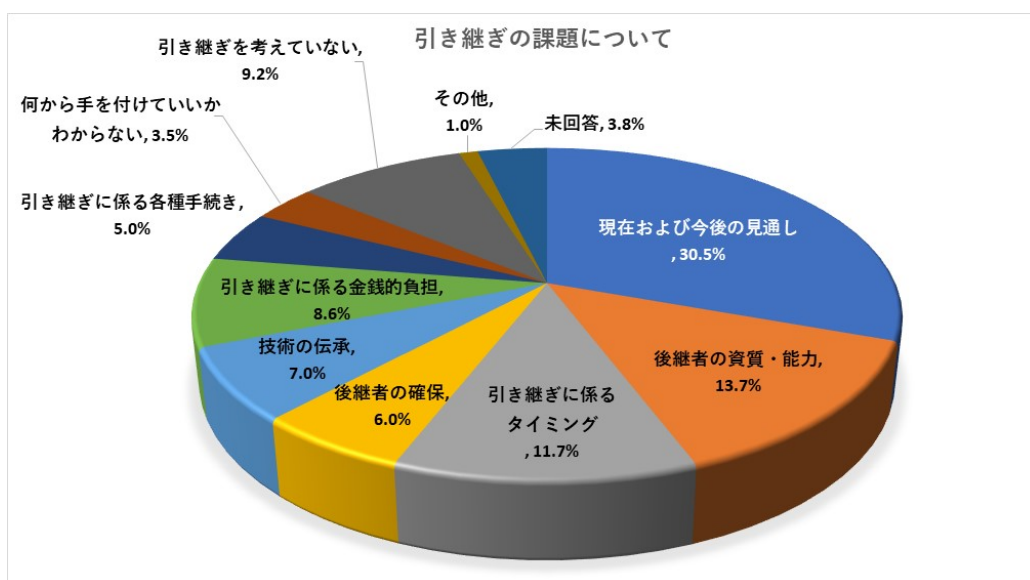
(7) 新型コロナウイルスによる事業引き継ぎへの影響について

新型コロナウイルスによる事業引き継ぎへの影響について、「影響がなし（53.1%）」、「影響あり（42.4%）」であった。「影響あり」と回答した事業者のうち、「事業承継が難しくなった」と回答した者が 43.8%と約半数であり、次いで以前よりも廃業する可能性が高くなったのが 27.8%であった。

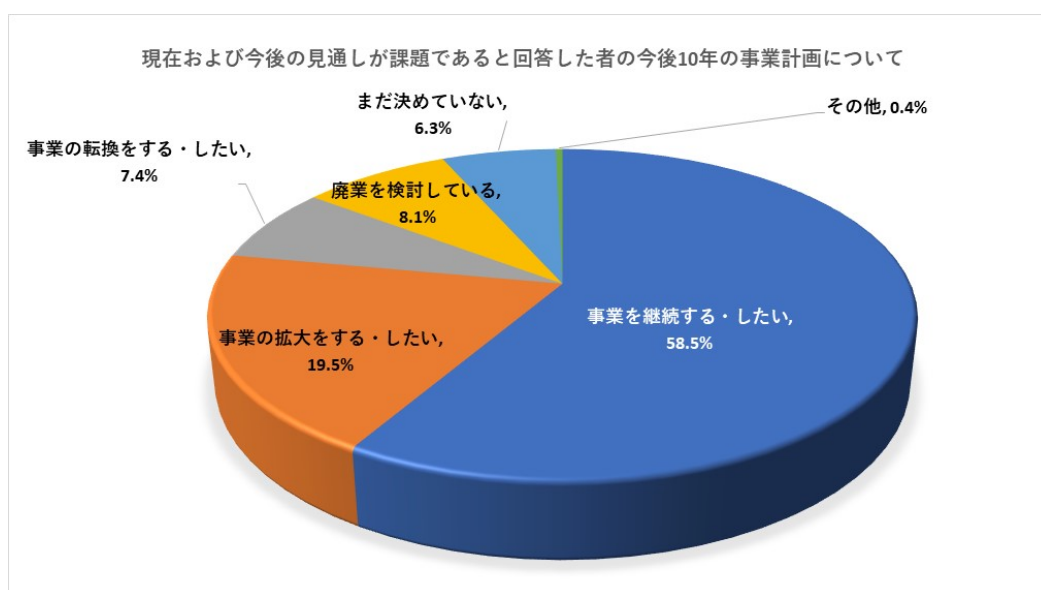


(8) 事業の引き継ぎにおける課題について

事業の引き継ぎにおいて課題であること・不安なことについて最も多いのが「現在および今後の経営の見通し (30.5%)」であり、次いで「後継者の資質・能力 (13.7%)」であった。

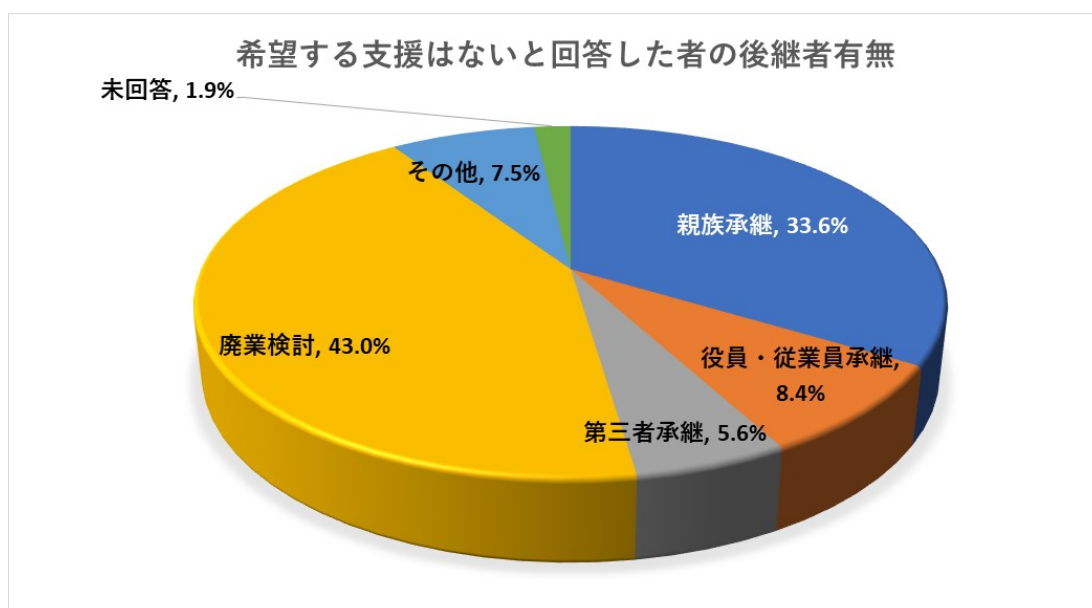
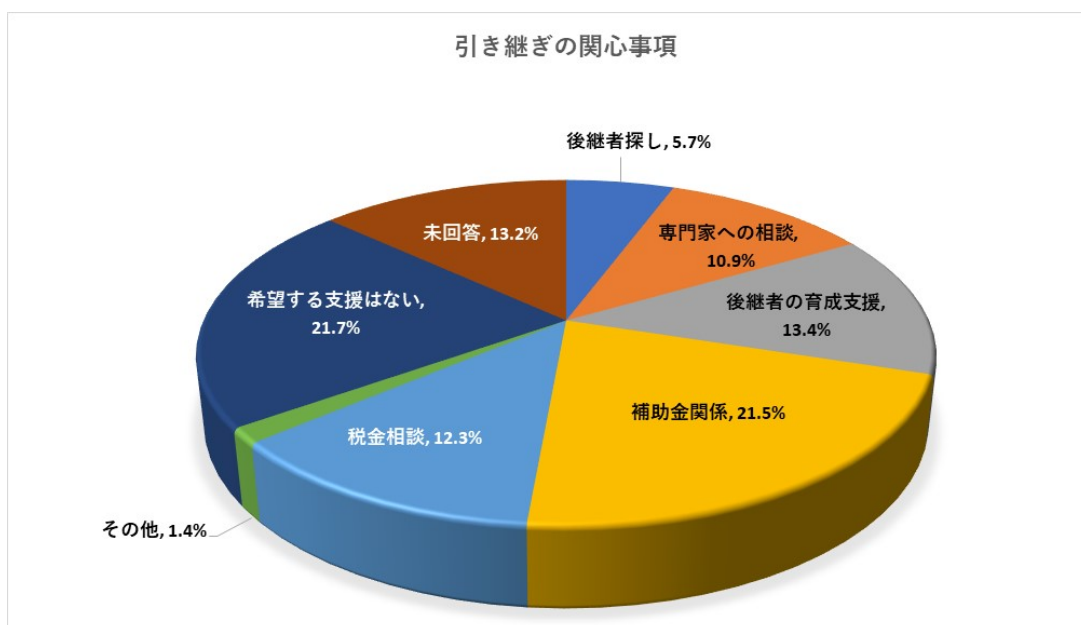


「現在および今後の見通しが事業の引き継ぎにおける課題である」と回答した者の、今後10年の事業計画の回答をしてみると、58.5%が「事業を継続する・したい」と回答しており、事業拡大を検討している事業者も19.5%であった。廃業を検討している者は8.1%であり、事業の引き継ぎの課題は「現在や今後の見通しである」と回答している半数以上が、不安を感じつつも事業を継続する意向であることがわかる。



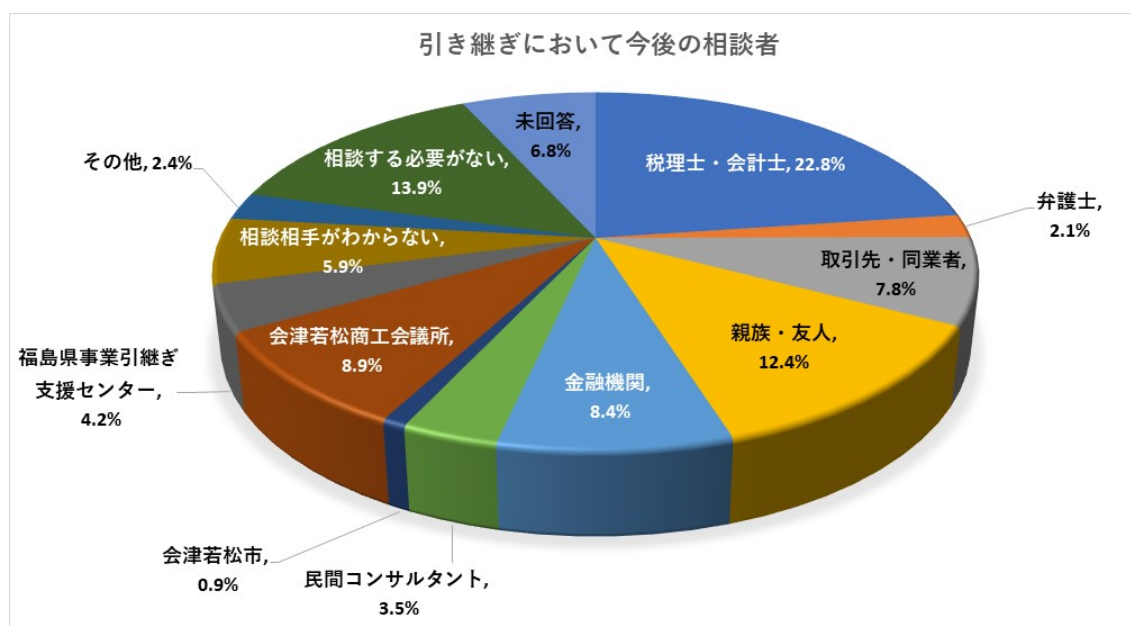
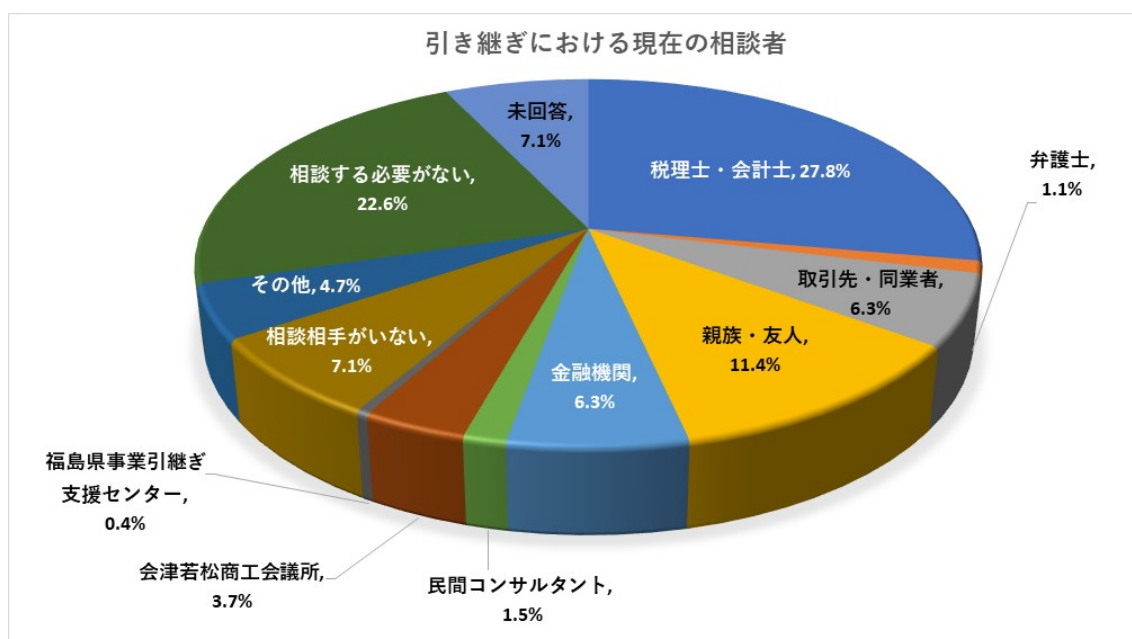
(9) 利用したい事業引き継ぎ支援について

事業の引き継ぎをする際に利用したい支援について回答が多かったのは、「補助金関係 (21.5%)」、「後継者の育成支援 (13.4%)」であった。一方で「希望する支援はない」と回答した者は 21.7%であった。「希望する支援はない」と回答した事業者の中で、後継者の属性または有無をみると、親族承継が 33.6%、廃業検討者が 43.0%であり、廃業検討者の方が多いものの、支援が必要ないとする理由は両極端であることが分かった。



(10) 事業引き継ぎにおける相談先について

事業引き継ぎにおける現在の相談先について最も多かったのが「税理士・会計士(27.8%)」であった。それに対して今後相談したい先においては、すべての相談先において希望者数が増えたが、特に「会津若松商工会議所(8.9%)」「福島県事業引継ぎ支援センター(4.2%)」においては大幅に増えた。これは、セカンドオピニオンや普段の相談先とは違う視点の提案や情報も考えたいということに起因しているのではないかと考えられる。

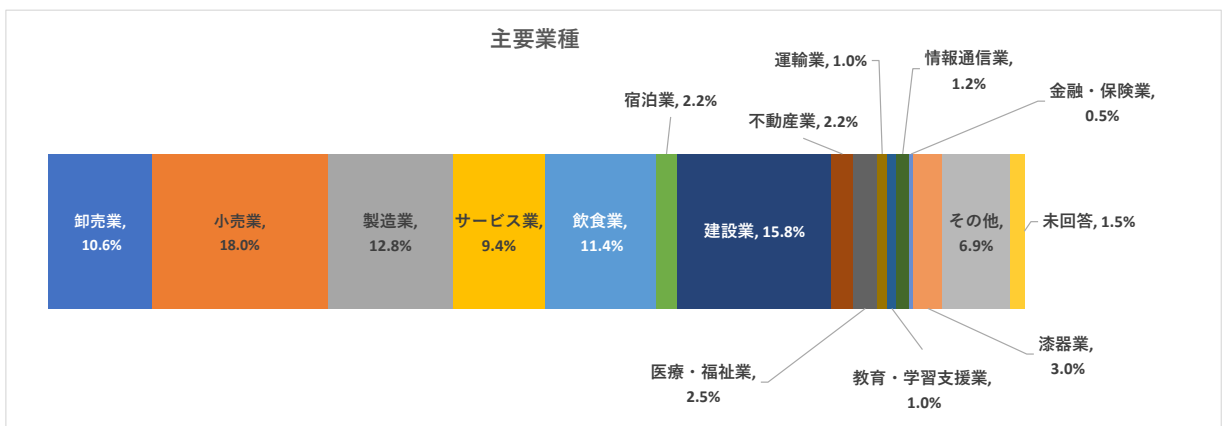


III. 調査結果

(1) 企業情報（回答者の属性）

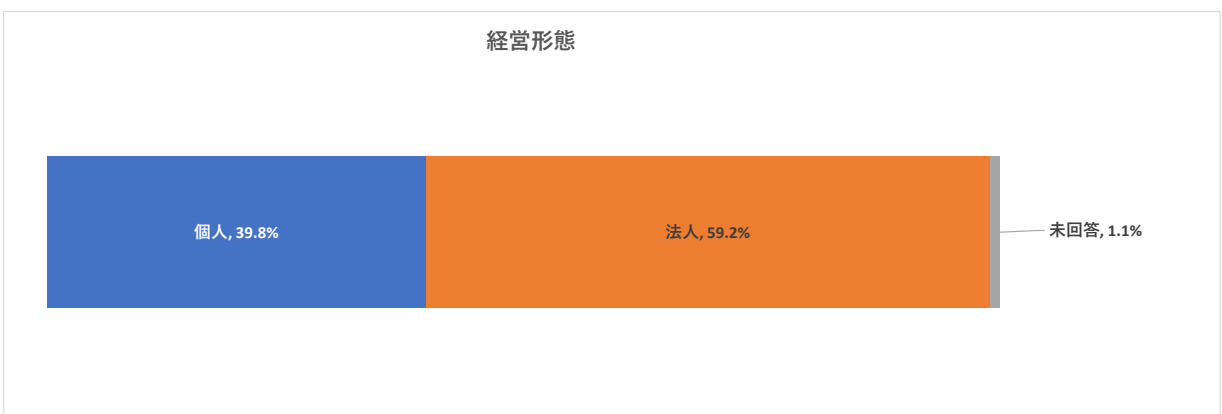
1. 主要業種 ※複数回答有

卸売業	小売業	製造業	サービス業	飲食業	宿泊業	建設業	不動産業	医療・福祉業	運輸業	教育・学習支援業	情報通信業	金融・保険業	漆器業	その他	未回答	合計
43	73	52	38	46	9	64	9	10	4	4	5	2	12	28	6	405
10.6%	18.0%	12.8%	9.4%	11.4%	2.2%	15.8%	2.2%	2.5%	1.0%	1.0%	1.2%	0.5%	3.0%	6.9%	1.5%	100.0%



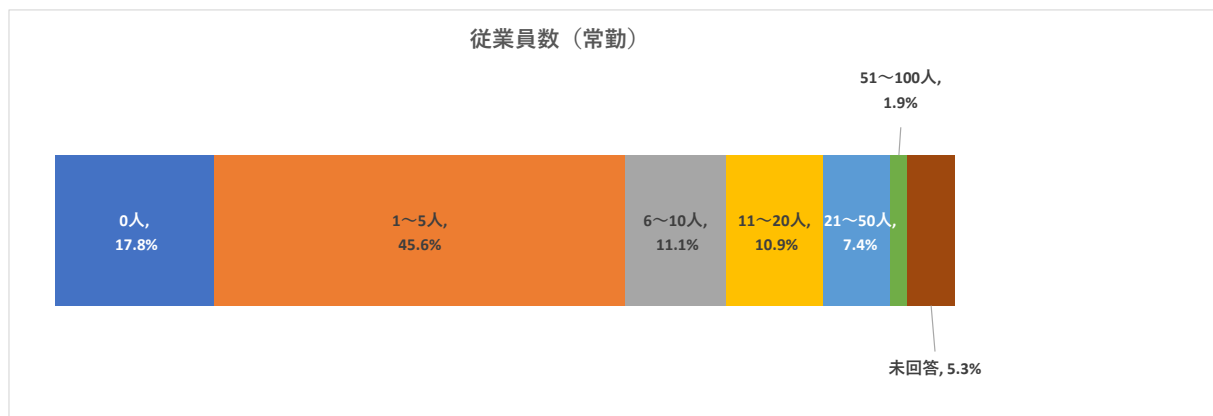
2. 経営形態

個人	法人	未回答	合計
150	223	4	377
39.8%	59.2%	1.1%	100.0%



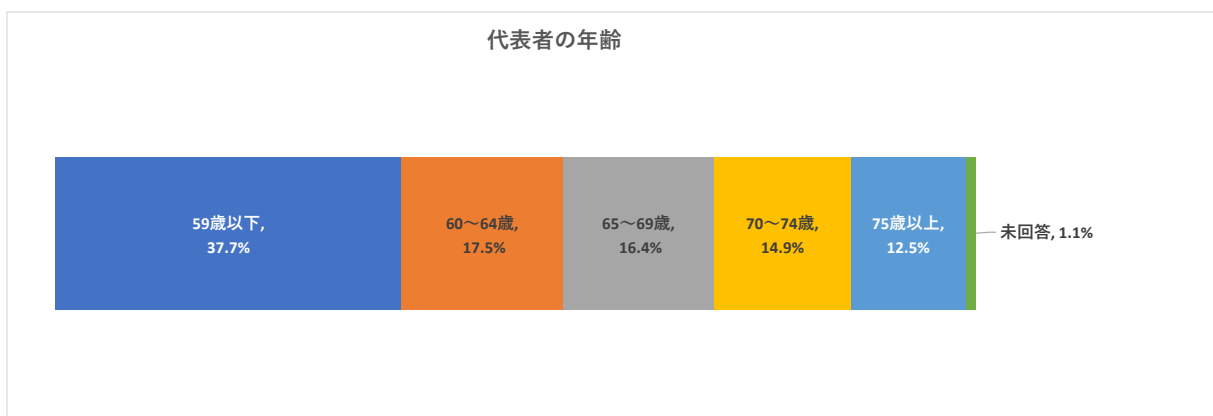
3. 従業員数（常勤）

0人	1～5人	6～10人	11～20人	21～50人	51～100人	101人超	未回答	合計
67	172	42	41	28	7	0	20	377
17.8%	45.6%	11.1%	10.9%	7.4%	1.9%	0.0%	5.3%	100.0%



4. 代表者の年齢

59歳以下	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	未回答	合計
142	66	62	56	47	4	377
37.7%	17.5%	16.4%	14.9%	12.5%	1.1%	100.0%



5. 業歴

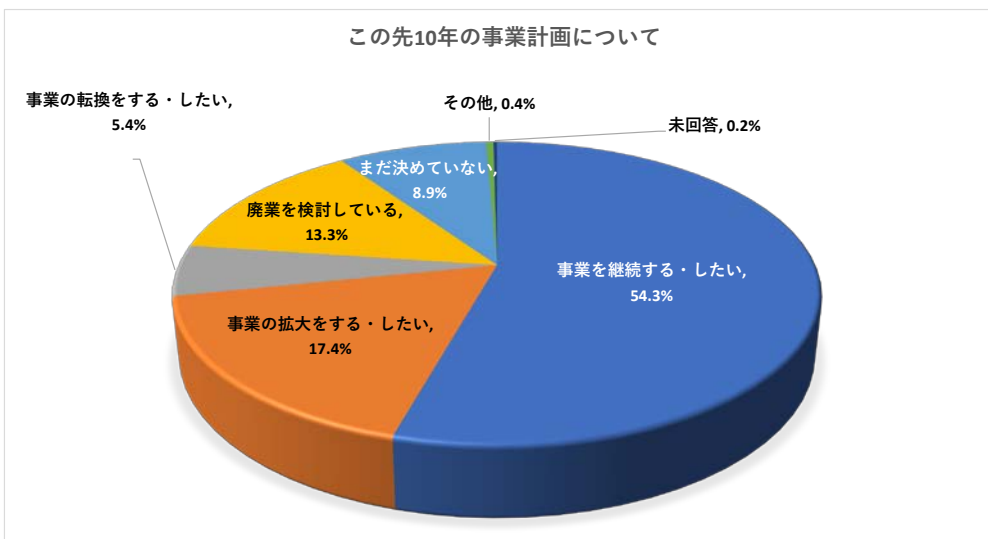
5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	未回答	合計
19	23	41	282	12	377
5.0%	6.1%	10.9%	74.8%	3.2%	100.0%



(2) 事業の継続について

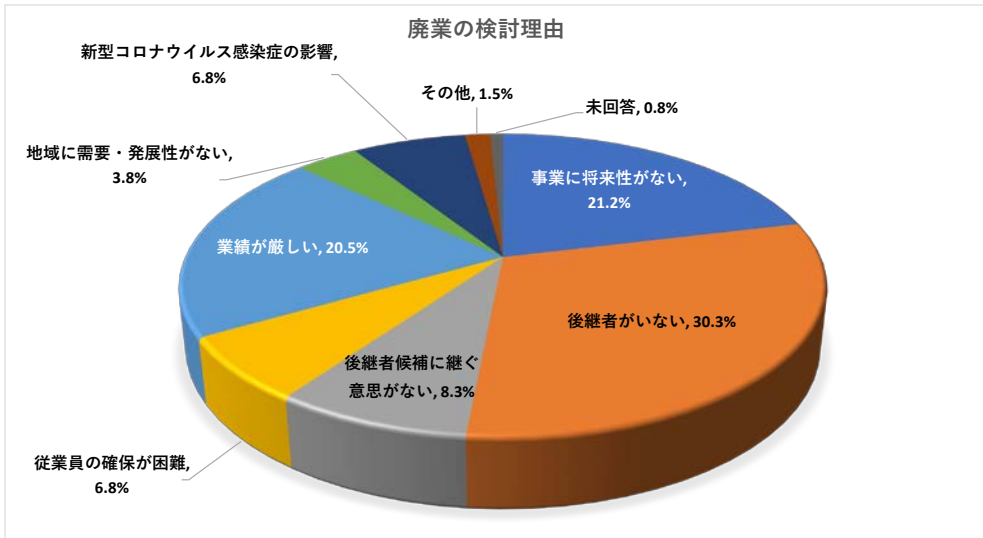
問1 この先10年の事業計画について、あてはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答有

事業を継続する・したい	事業の拡大をする・したい	事業の転換をする・したい	廃業を検討している	まだ決めていない	その他	未回答	合計
250	80	25	61	41	2	1	460
54.3%	17.4%	5.4%	13.3%	8.9%	0.4%	0.2%	100.0%



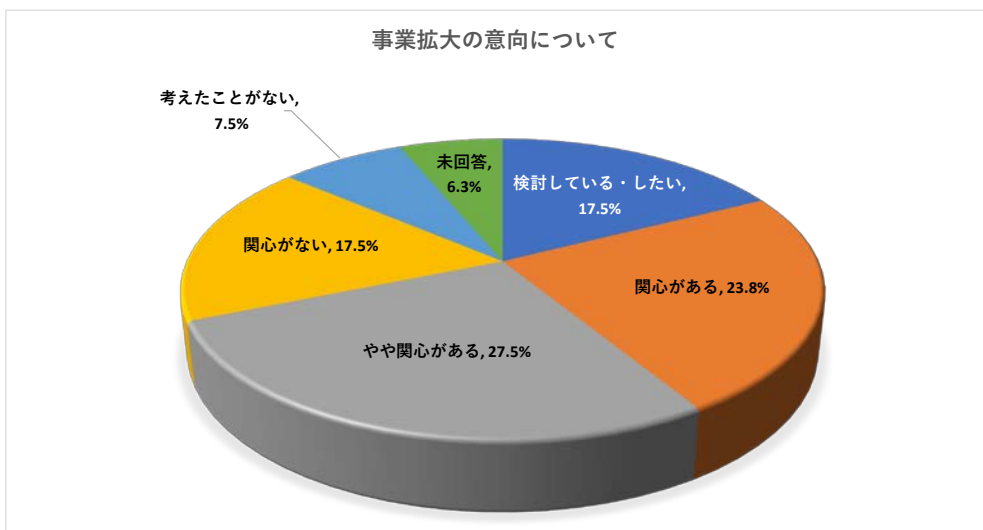
問2 問1で「4.廃業を検討している」（回答数：61）を選択した方にお伺いします。
その理由としてあてはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答有

事業に将来性がない	後継者がいない	後継者候補に継ぐ意思がない	従業員の確保が困難	業績が厳しい	地域に需要・発展性がない	新型コロナウイルス感染症の影響	その他	未回答	合計
28	40	11	9	27	5	9	2	1	132
21.2%	30.3%	8.3%	6.8%	20.5%	3.8%	6.8%	1.5%	0.8%	100.0%



問3 問1で「2.事業拡大をする・したい」（回答数：80）を選択した方にお伺いします。
M&Aによる事業拡大に興味はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

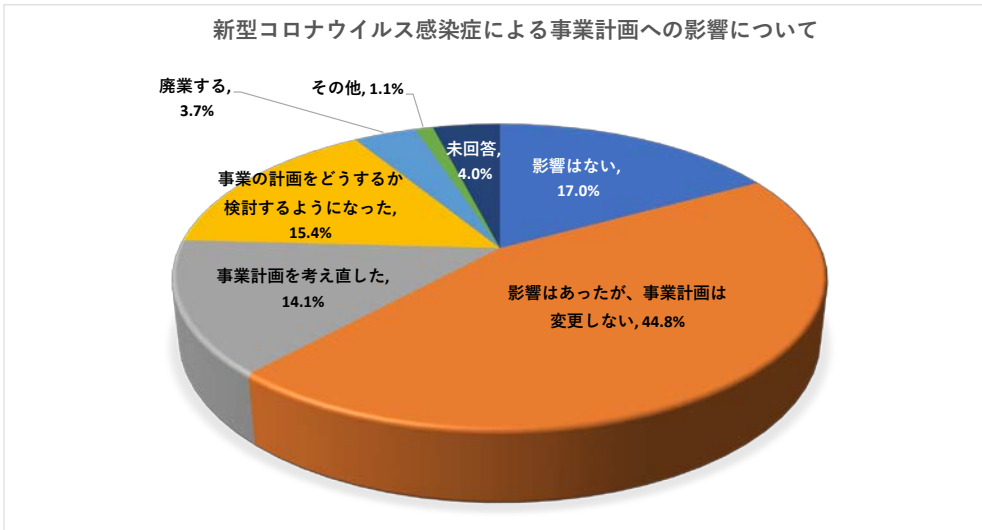
検討している・したい	関心がある	やや関心がある	関心がない	考えたことがない	未回答	合計
14	19	22	14	6	5	80
17.5%	23.8%	27.5%	17.5%	7.5%	6.3%	100.0%



(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について

問4 新型コロナウイルス感染症による、事業計画への影響について1つに○をつけてください。

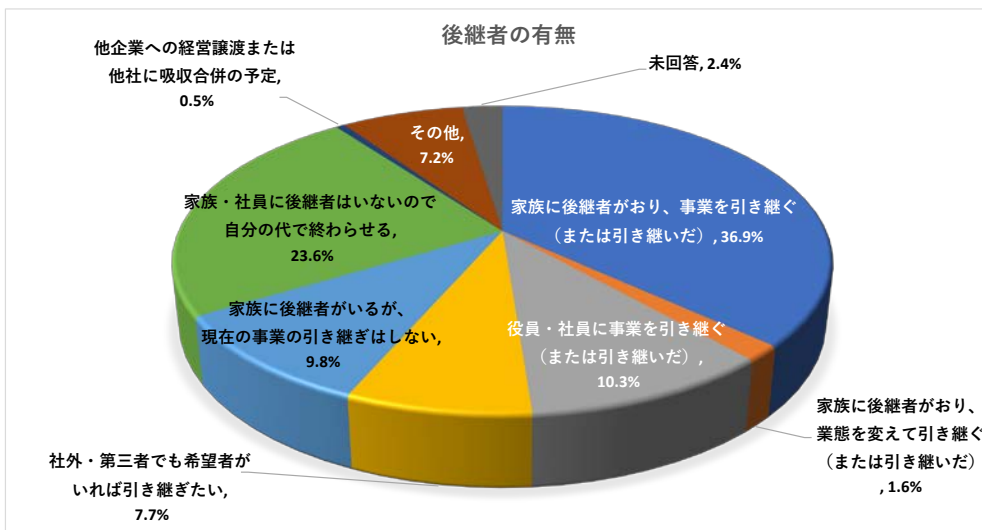
影響はない	影響はあったが、事業計画は変更しない	事業計画を考えた	事業の継続をどうするか検討するようになった	廃業する	その他	未回答	合計
64	169	53	58	14	4	15	377
17.0%	44.8%	14.1%	15.4%	3.7%	1.1%	4.0%	100.0%



(4) 後継者について

問5 後継者の有無について1つに○をつけてください。

家族に後継者がおり、事業を引き継ぐ(または引き継いだ)	家族に後継者がおり、業態を変えて引き継ぐ(または引き継いだ)	役員・社員に事業を引き継ぐ(または引き継いだ)	社外・第三者でも希望者がいれば引き継ぎたい	家族に後継者はいるが、現在の事業の引き継ぎはしない	家族・社員に後継者はいないので、自分の代で終わらせる	他企業への経営譲渡または他社に吸収合併の予定	その他	未回答	合計
139	6	39	29	37	89	2	27	9	377
36.9%	1.6%	10.3%	7.7%	9.8%	23.6%	0.5%	7.2%	2.4%	100.0%



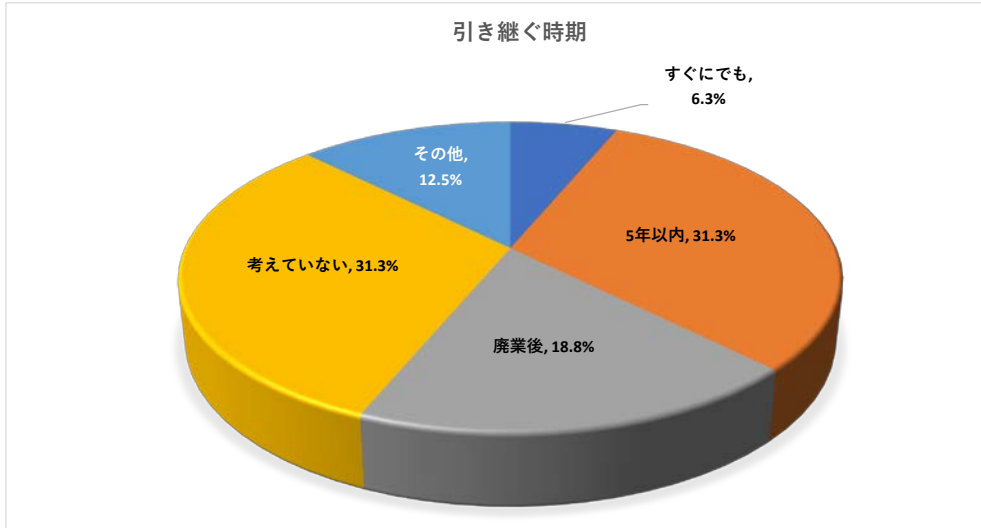
(5) 第三者承継希望者の引き継ぐ時期と探し方について

問6 問5で「4.社外・第三者に引継ぎたい」（回答数：29）を選択した方にお伺いします。

引き継ぐ時期、引き継ぎ先の探し方について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

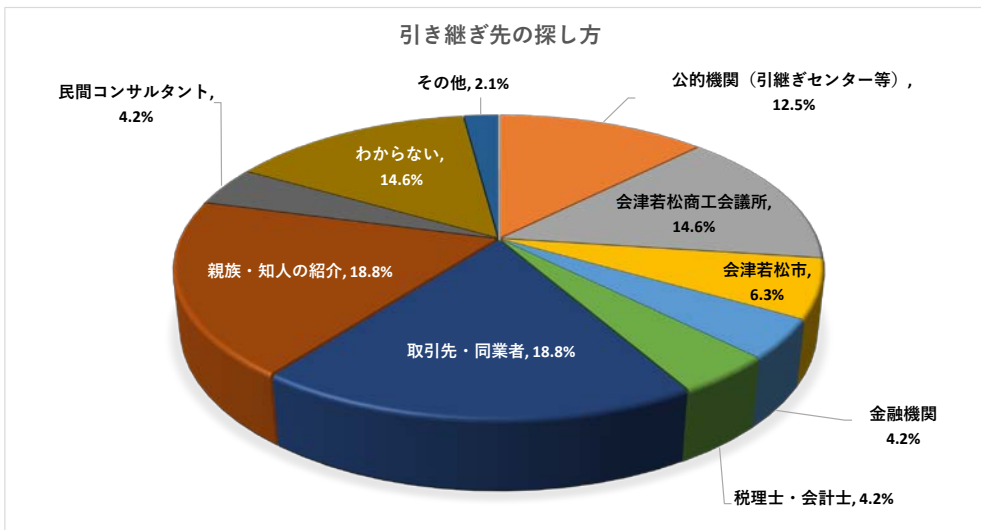
【引き継ぐ時期について】※複数回答有

すぐにも	5年以内	廃業後	考えていない	その他	未回答	合計
2	10	6	10	4	0	32
6.3%	31.3%	18.8%	31.3%	12.5%	0.0%	100.0%



【引き継ぐ相手について、どこで探したいと考えますか】※複数回答有

公的機関 (引継ぎ センター 等)	会津若松 商工会議所	会津若松市	金融機関	税理士・ 会計士	取引先・ 同業者	親族・知人 の紹介	民間 コンサル タント	わからない	その他	未回答	合計
6	7	3	2	2	9	9	2	7	1	0	48
12.5%	14.6%	6.3%	4.2%	4.2%	18.8%	18.8%	4.2%	14.6%	2.1%	0.0%	100.0%

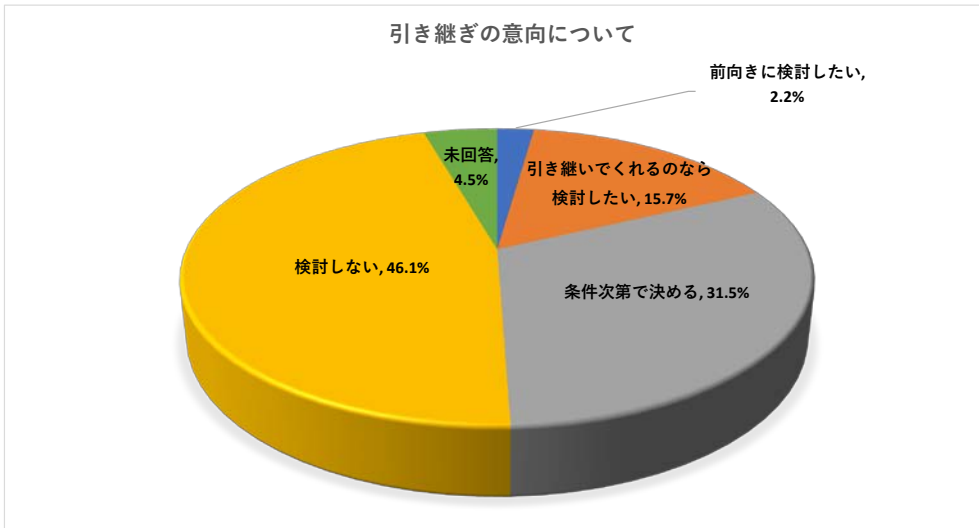


(6) 経営資源の活用について

問7 問5で「6.自分の代で終わらせる」(回答数:89)を選択した方にお伺いします。

事業(全部or一部)を引き継いで創業・起業したいという話があった場合、
事業の引き継ぎを検討するかどうか1つに○をつけてください。

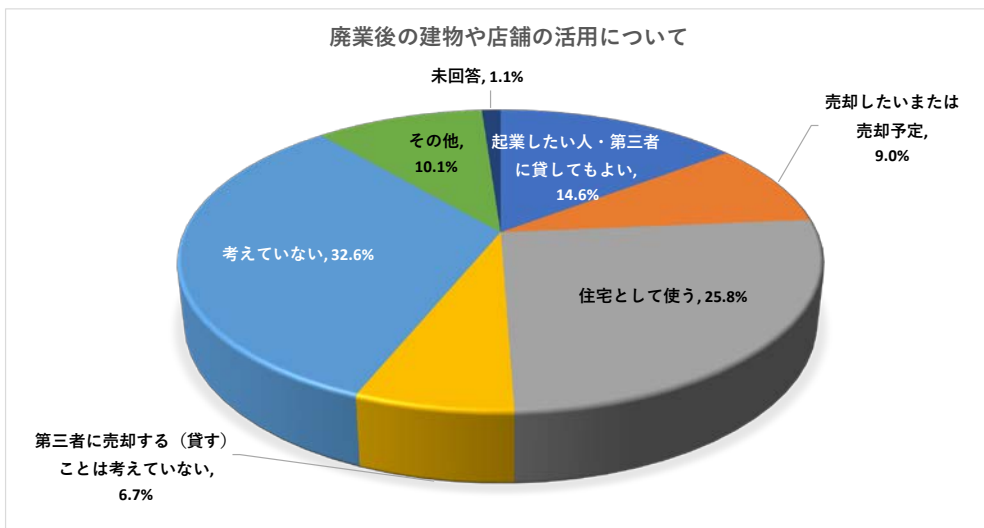
前向きに検討したい	引き継いでくれるのなら検討したい	条件次第で決める	検討しない	その他	未回答	合計
2	14	28	41	0	4	89
2.2%	15.7%	31.5%	46.1%	0.0%	4.5%	100.0%



問8 問5で「6.自分の代で終わらせる」(回答数:89)を選択した方にお伺いします。

廃業後の建物や店舗の活用について1つに○をつけてください。

起業したい人・第三者に貸してもよい	売却したいまたは売却予定	住宅として使う	第三者に売却する(貸す)ことは考えていない	考えていない	その他	未回答	合計
13	8	23	6	29	9	1	89
14.6%	9.0%	25.8%	6.7%	32.6%	10.1%	1.1%	100.0%

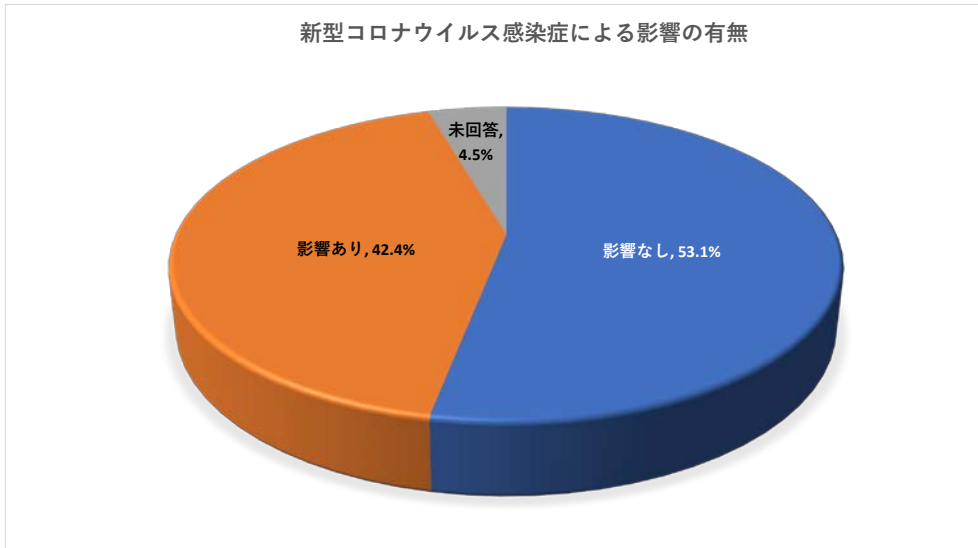


(7) 新型コロナウイルスによる事業引き継ぎへの影響について

問9 新型コロナウイルス感染症により、事業の引き継ぎへの影響について1つに○をつけてください。

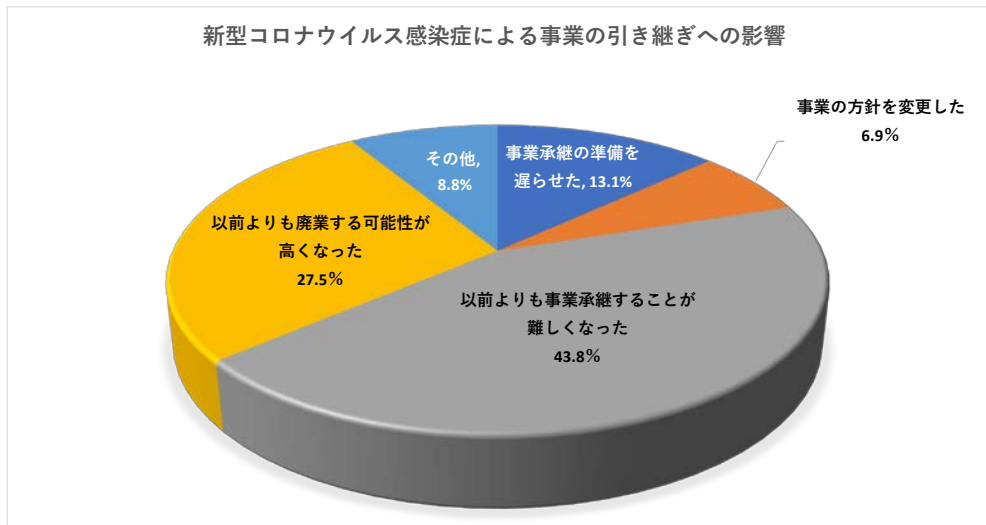
【新型コロナウイルス感染症による影響の有無について】

影響なし	影響あり	未回答	合計
200	160	17	377
53.1%	42.4%	4.5%	100.0%



【影響あり（回答数：160）を選択した方で事業の引き継ぎへの影響】

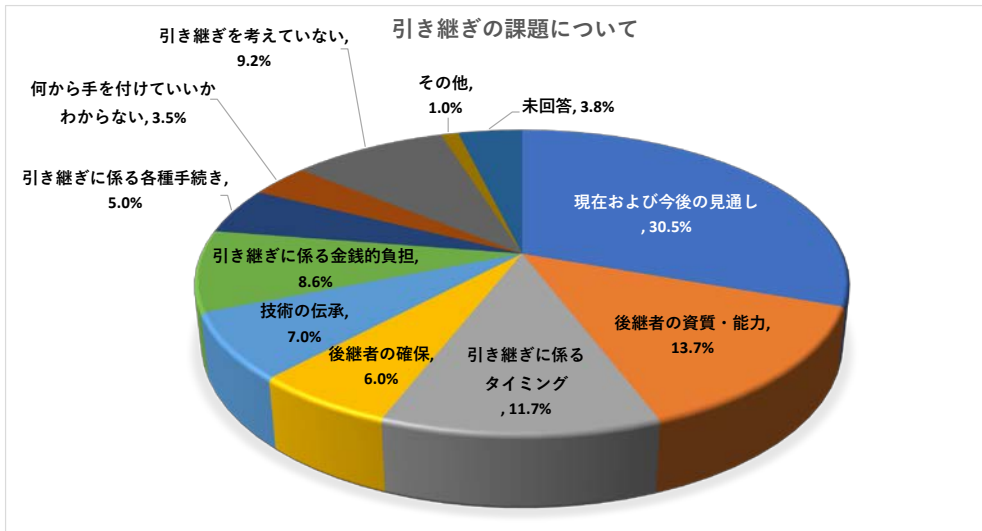
事業承継の準備を遅らせた	事業承継の方針を変更した	以前よりも事業承継することが難しくなった	以前よりも廃業する可能性が高くなった	その他	合計
21	11	70	44	14	160
13.1%	6.9%	43.8%	27.5%	8.8%	100.0%



(8) 事業の引き継ぎにおける課題について

問10 事業の引き継ぎに際して、課題であることや不安なことについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答有

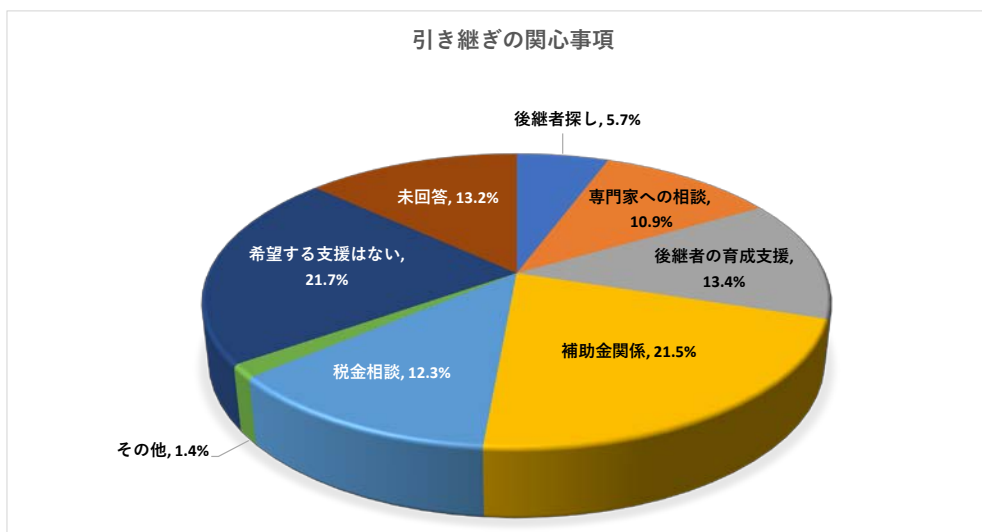
現在および今後の経営見通し	後継者の資質・能力	引き継ぎに係るタイミング	後継者の確保	技術の伝承	引き継ぎに係る金銭的負担	引き継ぎに係る各種手続き	何から手を付けていいかわからない	引き継ぎを考えていない	その他	未回答	合計
209	94	80	41	48	59	34	24	63	7	26	685
30.5%	13.7%	11.7%	6.0%	7.0%	8.6%	5.0%	3.5%	9.2%	1.0%	3.8%	100.0%



(9) 利用したい事業引き継ぎ支援について

問11 事業の引き継ぎをする際に利用したい支援があれば、あてはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答有

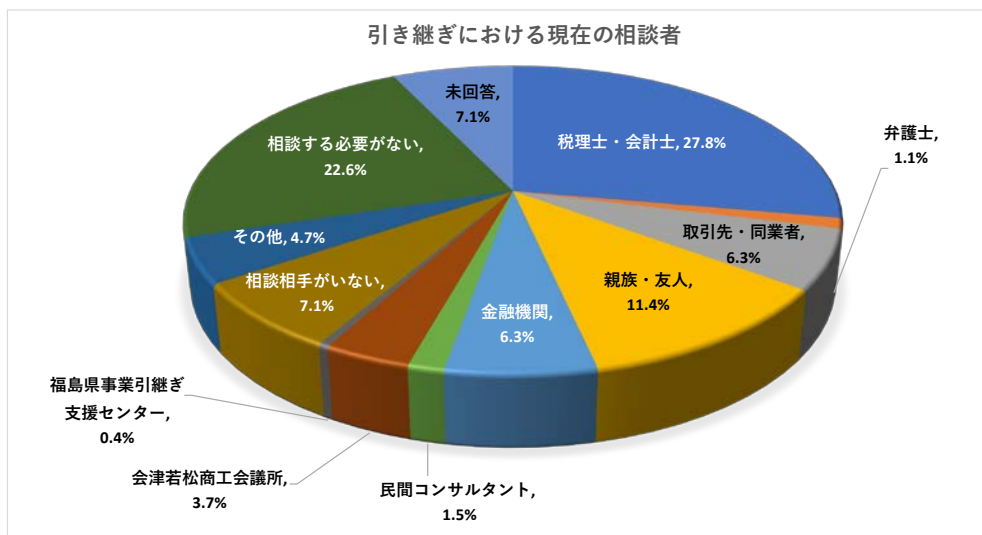
後継者探し	専門家への相談	後継者の育成支援	補助金関係	税金相談	その他	希望する支援はない	未回答	合計
28	54	66	106	61	7	107	65	494
5.7%	10.9%	13.4%	21.5%	12.3%	1.4%	21.7%	13.2%	100.0%



(10) 事業引き継ぎにおける相談先について

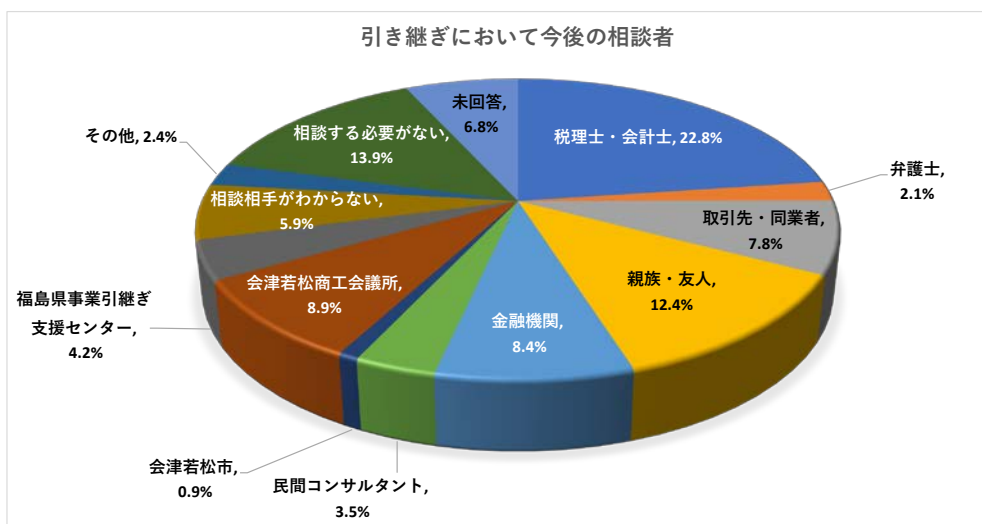
問12 事業の引き継ぎについて、現在は何なたに相談していますか。
 あてはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答有

税理士・ 会計士	弁護士	取引先・ 同業者	親族・友人	金融機関	民間 コンサル タント	会津若松市	会津若松 商工会議所	福島県事業 引継ぎ支援 センター	相談相手 がない	その他	相談する 必要がない	未回答	合計
129	5	29	53	29	7	0	17	2	33	22	105	33	464
27.8%	1.1%	6.3%	11.4%	6.3%	1.5%	0.0%	3.7%	0.4%	7.1%	4.7%	22.6%	7.1%	100.0%



問13 今後事業の引き継ぎに関して、どなたに相談したいと考えていますか。
 あてはまるもの全てに○をつけてください。※複数回答有

税理士・ 会計士	弁護士	取引先・ 同業者	親族・友人	金融機関	民間 コンサル タント	会津若松市	会津若松 商工会議所	福島県事業 引継ぎ支援 センター	相談相手 がわからない	その他	相談する 必要がない	未回答	合計
131	12	45	71	48	20	5	51	24	34	14	80	39	574
22.8%	2.1%	7.8%	12.4%	8.4%	3.5%	0.9%	8.9%	4.2%	5.9%	2.4%	13.9%	6.8%	100.0%



今後の事業継続に関するアンケート

実施機関：会津若松商工会議所、福島県事業引継ぎ支援センター

コロナ禍で状況が一変した中、会津若松商工会議所、福島県事業引継ぎ支援センターでは、会員の皆様の現状について把握し、今後の支援の参考とするために本アンケート調査を実施させていただきます。

本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。 令和3年3月

同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。

返送期限 **3月19日(金)まで**

◆記入上のお願い◆

- 該当する選択肢に○をつけてください。(複数選択の質問もあります)
- 「その他」にあてはまる時は()内に具体的な内容を記入してください。

企業情報：貴社の概要について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 主要業種	1 卸売業 2 小売業 3 製造業 4 サービス業 5 飲食業 6 宿泊業 7 建設業 8 不動産業 9 医療・福祉業 10 運輸業 11 教育・学習支援業 12 情報通信業 13 金融・保険業 14 漆器業 15 その他()
2. 経営形態	1 個人 2 法人
3. 従業員数(常勤)	1 0人 2 1~5人 3 6~10人 4 11~20人 5 21~50人 6 51~100人 7 101人超
4. 代表者のご年齢	1 59歳以下 2 60~64歳 3 65~69歳 4 70~74歳 5 75歳以上
5. 業歴	1 5年未満 2 5年以上10年未満 3 10年以上20年未満 4 20年以上

問1 この先10年の事業計画について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 事業を継続する・したい
- 事業の拡大をする・したい
- 事業の転換をする・したい
- 廃業を検討している
- まだ決めていない
- その他()

問2 問1で「4 廃業を検討している」を選択した方にお伺いします。その理由としてあてはまるもの全てに○をつけてください。

- 事業に将来性がない
- 後継者がいない
- 後継者候補に継ぐ意思がない
- 従業員の確保が困難
- 業績が厳しい
- 地域に需要・発展性がない
- 新型コロナウイルス感染症の影響
- その他()

問3 問1で「2 事業拡大をする・したい」を選択した方にお伺いします。

M&Aによる事業拡大に興味はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 検討している・検討したい
- 関心がある
- やや関心がある
- 関心がない
- 考えたことがない

問4 新型コロナウイルス感染症による、事業計画への影響について1つに○をつけてください。

- 影響はない
- 影響はあったが、事業計画は変更しない
- 事業計画を考え直した
- 事業の継続をどうするか検討するようになった
- 廃業する
- その他()

問5 後継者の有無について1つに○をつけてください。

- 家族に後継者がおり、事業を引き継ぐ(または引き継いだ)
- 家族に後継者がおり、業態を変えて引き継ぐ(または引き継いだ)
- 役員・社員に事業を引き継ぐ(または引き継いだ)
- 社外・第三者でも希望者がいれば引き継ぎたい
- 家族に後継者はいるが、現在の事業の引き継ぎはしない
- 家族・社員に後継者はいないので、自分の代で終わらせる
- 他企業への経営譲渡または他社に吸収合併の予定
- その他()

問6 問5で「4 社外・第三者に引き継ぎたい」を選択した方にお伺いします。

引き継ぐ時期、引き継ぎ先の探し方について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

《引き継ぐ時期について》

- すぐにでも
- 5年以内
- 廃業後
- 考えていない
- その他()

《引き継ぐ相手について、どこで探したいと考えますか》

- 公的機関(引継ぎセンター等)
- 会津若松商工会議所
- 会津若松市
- 金融機関
- 税理士・会計士
- 取引先・同業者
- 親族・知人の紹介
- 民間コンサルタント
- わからない
- その他()

問7 問5で「6 自分の代で終わらせる」を選択した方にお伺いします。

貴社の事業(全部 or 一部)を引き継いで創業・起業したいという話があった場合、事業の引き継ぎを検討するかどうか1つに○をつけてください ※詳細は同封の後継者人材バンクのチラシをご覧ください

- 前向きに検討したい
- 引き継いでくれるのなら検討したい
- 条件次第で決める
- 検討しない
- その他()

裏面に続きます

問8 問5で「6 自分の代で終わらせる」を選択した方にお伺いします。

廃業後の建物や店舗の活用について1つに○をつけてください。

- 起業したい人・第三者に貸してもよい
- 売却したいまたは売却予定
- 住宅として使う
- 第三者に売却する(貸す)ことは考えていない
- 考えていない
- その他()

これ以降 すべての方にお伺いします

問9 新型コロナウイルス感染症により、貴社の事業引き継ぎへの影響について1つに○をつけてください。

- 影響はない
- 影響はあった(どのような影響がありましたか? a~e であてはまるものに○をつけてください)
 - 事業承継の準備を遅らせた
 - 事業承継の方針を変更した(具体的に:)
 - 以前よりも事業承継することが難しくなった
 - 以前よりも廃業する可能性が高くなった
 - その他()

問10 事業の引き継ぎに際して、課題であることや不安なことについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 現在および今後の経営見直し
- 後継者の資質・能力
- 引継ぎに係るタイミング
- 後継者の確保
- 技術の伝承
- 引継ぎに係る金銭的負担
- 引継ぎに係る各種手続き
- 何から手を付けていいかわからない
- 引継ぎを考えていない
- その他()

問11 事業の引き継ぎをする際に利用したい支援があれば、あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 後継者探し
- 専門家への相談
- 後継者育成支援
- 補助金関係
- 税金相談
- その他()
- 希望する支援はない

問12 事業の引き継ぎについて、現在はどなたに相談していますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 税理士・会計士
- 弁護士
- 取引先・同業者
- 親族・友人
- 金融機関
- 民間コンサルタント
- 会津若松市
- 会津若松商工会議所
- 福島県事業引継ぎ支援センター
- 相談相手がない
- その他()
- 相談する必要がない

問13 今後事業の引き継ぎに関して、どなたに相談したいと考えていますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

- 税理士・会計士
- 弁護士
- 取引先・同業者
- 親族・友人
- 金融機関
- 民間コンサルタント
- 会津若松市
- 会津若松商工会議所
- 福島県事業引継ぎ支援センター
- 相談相手が見つからない
- その他()
- 相談する必要がない

★福島県事業引継ぎ支援センターでは、毎月会津若松商工会議所において、事業引継ぎに関する相談を無料で
行っております。公的機関ですので、秘密厳守・中立な立場でアドバイスしております。

話を聞いてみたい、まだ悩んでいる方も相談できますので、相談を希望される方や連絡をしても良い方は、
連絡先をご記入ください。また、連絡が不要な方は、連絡不要にチェックを入れてください。

《希望連絡先》

相談希望 連絡不要

企業名			
氏名	電話番号 (携帯番号可)		

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートに関するお問合せ先：福島県事業引継ぎ支援センター 電話 024-954-4163

※統計的に集計した回答内容は公表する場合がございます。

なお、ご記入いただいた情報は、会津若松商工会議所・会津若松市と共有し事業承継の支援に活用させていただく
ものであり、他の支援機関への情報開示については、回答者からの承諾なしに開示はいたしません。